

# 授業の様子

## 令和7年度 馬込小学校 研推だより 5年生号

令和7年 12月16日(火)

思考力・判断力・表現力を育てる学習指導の工夫

～対話を通して互いの考えを認め合い、

問題解決を図る児童の育成をめざして～

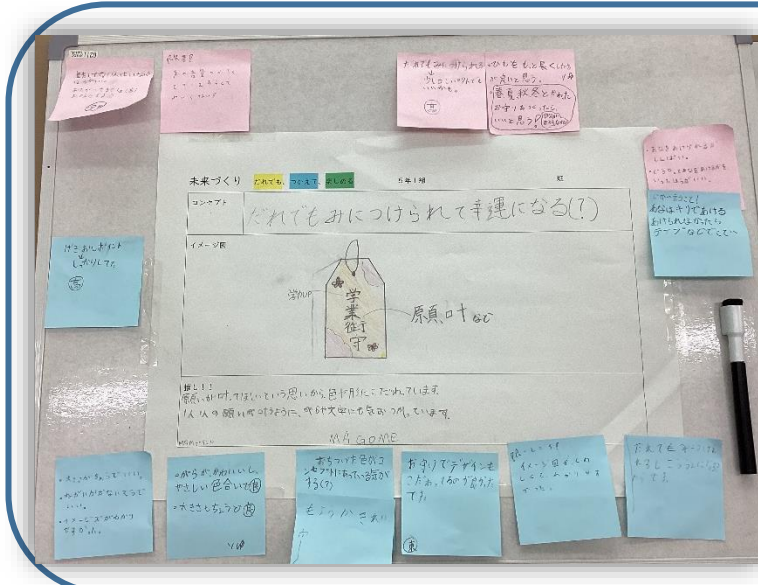
### 5-1

#### よかった点

対面でのフィードバックにしたことにより、1班ずつしか見合えなかったが、助言の質は高かった。また、その場で質問⇄応答のやり取りができた。

#### 改善点

もらったアドバイスは、自分たちにとって必要なものかどうか、吟味・整理することが大切。具体的に指示を出したり、よい姿を取り上げたりする必要があった。



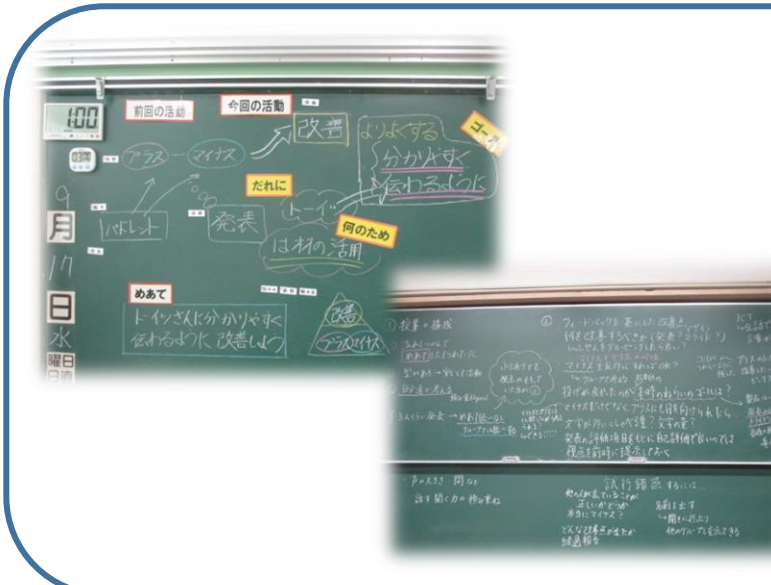
### 5-2

#### よかった点

手立て①の主体性の育成では、日頃の成果が見られた。主体的に学習を進めるための型が児童全体に浸透していたため、効果的な手立てとなっていた。

#### 改善点

手立て②の ICT の活用は効果的だったが、「試行錯誤」の充実が不十分だった。どのような思考が「試行錯誤」にあたるのか、そのためには、どのような指導（声掛け）が必要だったのか、考える必要があった。



## 学年のまとめ

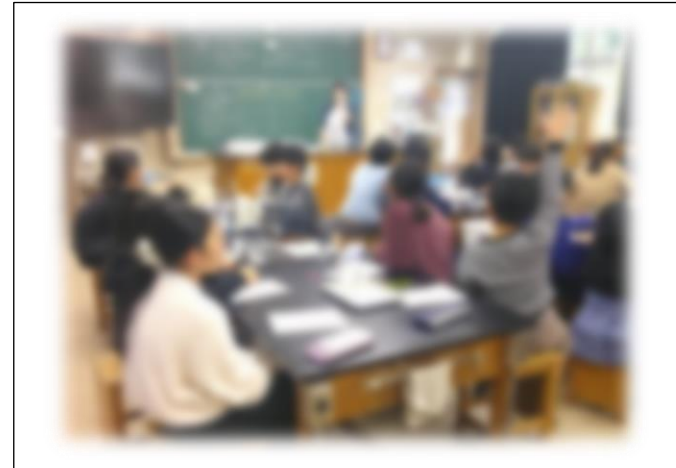
### 5-3

#### よかった点

実際に食塩が溶ける様子を観察し問題をつかむことで、事象への関心を高め、問題解決への主体性を引き出した。全員が、考えをもって、話し合いに臨むことができた。

#### 改善点

集団検討では、取り上げられなかった意見もあった。小集団での話し合いも取り入れ、自分の考えをしっかり伝え、認め合いながら検討する場を設定する必要があった。



### 5年生の成果と課題

結果を予測 → 5-3(理科)

試行錯誤 → 5-1 5-2(おたの未来づくり)

- ・振り返りの練度↑ → 主体性↑
- ・身近な事象から問題を見つける → 主体性↑
- ・対面型のフィードバック → 正しく伝わる
- ・これまでの学習を生かす → 結果を予測する力↑

- ・主体性↑ ⇔ 時間がかかる
- ・準備に時間がかかる
- ・フィードバックの効率化 ⇔ 文章のため、正しく伝わらないことがある
- ・対面型のフィードバック → アドバイスの情報量↓

### 高学年のめざす児童像

問題を発見し、解決方法を考え、**結果を予測しながら**  
**試行錯誤**して解決方法の実行を繰り返し、問題解決を  
図ることができる子